

ヨコハマタイヤコーポレーション CSRレポート

事業内容: 自動車用タイヤの生産・販売
敷地面積: 422,000m²
従業員数: 1,287人 (2011年12月現在)
本社所在地: 601 South Acacia Avenue, Fullerton, CA 92831, U.S.A.
工場所在地: 1500 Indiana Street, Salem, VA 24153, U.S.A.

相談・苦情などの受付窓口:

Environment Health and Safety Dept. Neil Dalton, Director of Environment Health and Safety
 TEL: +1-540-375-8209 FAX: +1-540-375-0226 メールアドレス: Neil.Dalton@yokohamatire.com



社長ご挨拶



田中 靖

ヨコハマタイヤコーポレーション (YTC) は、1969年に米国カリフォルニア州にタイヤ販売会社として設立され、1992年にモホーク・ラバー・カンパニー (現バージニア州セーラム工場) と合併してタイヤ生産販売会社となり現在に至っています。

その生産拠点であるセーラム工場では、1997年11月にISO9001を2007年3月にISO14001の認証を取得し、これを継続しています。環境関連では、LED照明の導入や廃熱再利用による省エネルギーの推進と産業廃棄物の削減と共に埋め立て率削減 (ゼロ・エミッション) に向けた活動を展開しています。また、タイヤに配合するオイルを環境に優しいタイプに全量変更しています。商品開発にお

いては、乗用車向けとしてオレンジオイルを配合することにより対摩耗性に優れ燃費性の良いYK580シリーズを立ち上げ9月より販売を開始しています。また、トラック用タイヤにおいては、環境性能に特化したタイヤZ ENVIRONMENTをはじめ7パターンが、EPAの定める低こもり抵抗の燃費性に優れた“SMART WAY”タイヤとして認証されています。一方、「YOKOHAMA千年の杜」プロジェクトでは、セーラム工場が2009年4月 (第一期)、2010年4月 (第二期) に続き、2011年5月に第三期の植樹をしたほか、カリフォルニア本社でも2010年12月に宮脇昭氏 (植物生態学者) にも参加していただき、工場以外では初めての第一期植樹を実施しています。

このような活動を通して、ISO26000に準拠した地球貢献企業を目指し、積極的に環境および社会貢献に取り組んでいきます。

環境経営の推進

環境マネジメントミッション： YTC ENVIRONMENTAL POLICY

- (1) 横浜ゴム (株) 環境「GD100」を尊重し、業務活動として環境問題へ取り組む。
- (2) 環境マネジメントシステムを強化し、継続的改善により汚染に対する予防を行うことで、技術的・経済的に問題解決を進める。
- (3) 適用された法的要求と他の我々が同意した環境要求について遵守する。
- (4) 屑の削減、リサイクル、リサイクル社会の維持に貢献できる再利用を通じ、汚染防止活動を実施することで、自然界の維持に努める。
- (5) 業務を通じ、省エネルギー/エネルギー効率の改善/再生可能エネルギーを含めたエネルギーの責任ある使用により地球温暖化防止の活動を実施する。
- (6) 環境に関わる情報、教育、訓練を従業員に与え、ステークホルダーへの実践的な環境福祉援助に貢献を進める。
- (7) ビジネスプロセス、製品、活動に対する継続的改善に努力する。環境マネジメントシステムで設定されている環境目標を毎年目標と進捗をレビューし、監視していく。

化学物質の管理状況

アメリカ合衆国環境保護庁TSCA (有害物質規制法) にのっとり企業活動をしています。過去に使用経験のない化学物質を新しく工場に導入する際は、社内の専門家による承認過程を得る仕組みをとっています。

騒音、振動、臭気について

2011年、近隣住民より騒音苦情を3件承りました。対策として、YTCでは構内要所に騒音モニター装置の設置と社内基準を設定し日々チェックによる自己管理をしています。

2011年3月に工場の環境内部監査にてVOC (volatile organic compounds) の申告漏れを発見し、関係当局へ自己申告し適切な対応を取っています。

2011年10月に工場排水のZn濃度が規定値を超えたことが分かりました。工場内にて原因を発見しその対応を取り、その後は規定値内を維持しています。

環境データ

項目	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	
廃棄物発生量 (t)	2820.0	2956.0	3518.6	4133.9	
埋立率 (%)	49.0	41.7	46.0	33.4	
エネルギー使用量 (原油換算: kl)	電力	21,463	20,747	21,635	22,178
	燃料	11,348	11,232	11,840	11,705
	合計	32,811	31,979	33,475	33,882
温室効果ガス排出量 (千t-CO ₂)	68.6	66.8	70.0	70.9	
水使用量 (千m ³)	189	171	196	198	

※年度: 1月~12月

※温室効果ガス排出量の算定は、日本国の環境省・経済産業省発行の温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルを使用しました。

安全衛生方針

YTCは、安全衛生環境の整った職場を職員に提供することを会社の責任と認識し、職場における事故の撲滅を最重要課題のひとつとして掲げています。また、職員の安全と健康は、労働時間内だけでなく、時間外においても重要と考えており、職員の安全、健康、火災防止等を考慮した工場運営を、州や連邦の規制を遵守しつつ進めています。

従業員の教育・訓練

新規採用の従業員の教育・訓練を強化し、そのフォローアップも行うようにしています。また、全従業員対象での安全トレーニングも継続して実施しています。

災害時の対応

セーラム工場では、“Industrial rescue team”を持っており、医療救急、火災・事故発生時の対応体制も整えています。また火災避難訓練も定期的を実施しています。

地域社会とのかかわり

2011年地域関連活動

①千年の杜プロジェクトの植樹活動

- ・5月6日 Forever Forest (千年の杜プロジェクト) :
セーラム工場が2009年4月(第一期)、2010年4月(第二期)に続き、2011年5月に第三期の植樹を行いました。
カリフォルニア本社でも2010年12月(第一期) 2011年12月7日(第二期) 植樹を行いました。



- ・10月1日 Fall Waterway Cleanup :
ロアノーク川の清掃活動にYTC職員として参加しました。



②ボランティア活動

- ・4月9日 Clean Valley Day :
工場の正面道路(セーラム市・インディアナストリート)の清掃活動にYTCの職員として参加しました。





③募金や寄付などの実績

- ・東日本大震災への寄付 (Fullerton\$1,904,Salem\$8,622,Online\$4,335 Total\$14,861)
- ・Apple Ridge Farm (恵まれない子供たちへの支援) ; \$10,000
- ・United Way (ロアノーク地域での教育・家族・お年寄り・健康などの分野への支援) ;
会社\$15,000、従業員\$87,148.75、合計\$102,148.75
- ・Salem City (工場に隣接する場所へのDog Park 建設寄付金) \$5,000
- ・Roanoke Symphony (地域で活動する地元オーケストラへの支援) \$5,000

④地域交流・イベントの実施および参加

- ・4月26日～29日 Ride & Drive:
主にディーラーの人達に参加していただき、各種タイヤの違いを実際に運転して実感していただくとともに、タイヤの教育 (Tire101) と工場見学によりタイヤの製造への理解を深めてもらっています。



- ・5月21日 Local Colors:
Roanoke市で毎年開催されている、各国紹介のイベントに日本人駐在員が参加しました。
- ・5月18日および6月1日 Apple Ridge Farm Activity:
コミュニケーション力向上を目的に、工場スーパーバイザーから選抜したメンバーで屋外研修を実施しました。



- ・8月3日 Open House:
コミュニケーション向上を目的に工場従業員およびその家族の方達に工場に来ていただき、希望者へのタイヤ教育 (Tire101) および工場見学と軽食提供後地元Salem Red Soxの野球観戦を実施しました。



- ・5月18日および6月1日 Apple Ridge Farm Activity:
コミュニケーション力向上を目的に、工場スーパーバイザーから選抜したメンバーで屋外研修を実施しました。

⑤工場見学の受け入れ実績

- ・3月15日
Roanoke Valley Christian High School 75人
- ・4月11日
Salem High School 36人